

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2011-122157(P2011-122157A)

【公開日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2011-025

【出願番号】特願2010-276984(P2010-276984)

【国際特許分類】

C 08 L 69/00 (2006.01)

C 08 L 53/00 (2006.01)

C 08 G 64/06 (2006.01)

【F I】

C 08 L 69/00

C 08 L 53/00

C 08 G 64/06

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

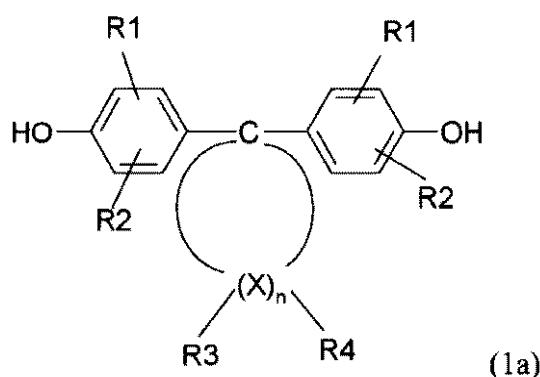
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) 耐熱変形性を有し、式(1a)：

【化1】



[式中、R1およびR2は互いに独立して、水素、ハロゲン、C₁～C₈アルキル、C₅～C₆シクロアルキル、フェニル、またはC₇～C₁₂アラルキルであり、nは4～7の整数であり、R3およびR4は各Xで個々に選択的であり、互いに独立して、水素またはC₁～C₆アルキルであり、Xは炭素であり、ただし、少なくとも1つのXについて、R4およびR4は同時にアルキルである。]

で表される1以上の環状脂肪族ビスフェノールに基づく少なくとも1種のポリカーボネート、成分AおよびBの総重量部にそれぞれ基づいて82～99.5重量%、および

B) 少なくとも一つのエチレンアルキルアクリレートブロックコポリマー、成分AおよびBの総重量部にそれぞれ基づいて、0.5～18重量%

を含有するポリカーボネート組成物。

【請求項2】

R₁ および R₂ は互いに独立して、塩素、臭素、メチル、フェニル、または水素であり、n は 4 または 5 である請求項 1 記載のポリカーボネート組成物。

【請求項 3】

成分 A がビスフェノール A およびビスフェノール T M C のコポリカーボネートを含有する請求項 1 記載のポリカーボネート組成物。

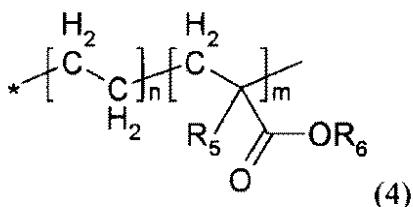
【請求項 4】

組成物が成分 A および B の総重量部に各々基づいて、成分 A 89 ~ 99 重量部および成分 B 1 ~ 11 重量部を含有する請求項 1 記載のポリカーボネート組成物。

【請求項 5】

成分 B のエチレン アルキル(メタ)アクリレートコポリマーが式(4)：

【化 2】



[式中、R₅ はメチルまたは水素であり、R₆ は水素またはC₁ ~ C₁₂ アルキル基であり、n および m は重合度である。]

で表されるエチレン アルキル(メタ)アクリレートブロックコポリマーである請求項 1 記載のポリカーボネート組成物。

【請求項 6】

R₆ がメチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、sec - ブチル、t - ブチル、イソブチル、ヘキシル、イソアミル、またはtert - アミルである請求項 5 記載のポリカーボネート組成物。

【請求項 7】

さらに、成分 A および B の総重量部に基づいて、成分 C として添加剤 0 ~ 5 重量部含有する請求項 1 記載のポリカーボネート組成物。

【請求項 8】

請求項 1 記載のポリカーボネート組成物から得られた成形品、押出物、フィルムまたはフィルムラミネート。

【請求項 9】

少なくとも一つのポリカーボネートがコポリカーボネートである、請求項 1 記載のポリカーボネート組成物から得られた共押出層を含有する成形品、押出物またはフィルム。

【請求項 10】

成形品、押出物、フィルムまたはフィルムラミネートが電子デバイスまたは装置のハウジング部品、工具ハウジング、携帯電話、加熱 / 排気パネル、タコメーターのディスク、装備ダイヤル、パネル、電気または電子デバイスのキーボード、レンズ、スクリーン / ディスプレーカバー、LED 用途、または自動車シート用フィルムである請求項 9 記載の成形品、押出物、フィルムまたはフィルムラミネート。

【請求項 11】

電子デバイスまたは装置がスイッチボックスである請求項 10 記載の電子デバイスまたは装置のハウジング部品。

【請求項 12】

界面法による一以上ポリカーボネートを配合する工程を含む請求項 1 記載のポリカーボネート組成物の調製方法。